



# まちの出来事

緑の循環森林認証で地域の活性化を  
森から海の連環を考えるシンポジウム

7月7日に開幕した北海道洞爺湖サミットのリンケージシンポジウム「森から海の連環を考えるシンポジウム」が7月4日、市民会館で開催されました。

紋別市を含む遠征8市町村の網走西部流域のSGEC森林認証の取得面積が日本最大となったことなどを記念したシンポジウムで、アウトドアライターの天野礼子さんや京都大学名誉教授・竹内典之さんの基調講演のほか、学識者によるパネルディスカッションで多面的・学術的に「森から海の連環」について考えました。

大ホールに約60人が集まったシンポジウムでは開会に先



立ち、緑の循環森林認証で地域おこし協議会の宮川良一会長（紋別市長）があいさつ。これまで紋別漁業協同組合の女性部などが実施してきた植樹活動などを挙げ「森が海に与える恵み、海が森に与える恵みは意識してきたが、なかなか学術的に言葉として出していくことができなかった」と今回の開催の意義を述べました。

スポーツを通じて親睦を深め合う第33回高齢者スポーツ大会が7月17日、スポーツセンターで開催されました。80歳以上の102人を含む22団体、47人の高齢者が交流を深めました。

## 競技を通じて交流深める高齢者スポーツ大会 総勢47人がさわやかな汗

開会式では、大会長の宮川良一市長が、「熱が入りすぎて怪我などされないように十分に注意しながら、思い出に残る楽しい一日になるように願っています」とあいさつ。昨



## 災害時協力で4協定締結 紋別市と市内関係8機関

市は6月20日、災害時における協力に関して市内関係8機関と災害時協定を締結しました。復旧業務や燃料供給、避難所における臨時ホスト開設といった災害特別事務などで協力する内容で、宮川良一市長は「非常に頼もしい限り。安定した市民生活確保のため感謝している」と話していました。

締結した協定は、「災害時における応急対策業務に関する協定書（締結先：紋別建設業協会、紋別土木協会、紋別水道工事業協会、紋別管工事協

## 白砂を巻き上げ、夏満喫！ ホワイトビーチフェスティバル サッカー・ビーチバレーで熱戦

海の日を記念するもんべつホワイトビーチフェスティバルが7月20日、ガリヤ地区のホワイトビーチで開催されました。晴天に恵まれた昨年と比べ、今年は、肌寒い一日でしたが、会場ではスポーツイベントやゲームが行われ、多くの家族連れなどで賑わいを見せました。

会、紋別板金組合）、「災害時における燃料等の供給協力に関する協定書（同：紋別地方石油業協同組合）、「災害時における郵便事業株式会社紋別支店と紋別市の協力に関する協定」（同：郵便事業株式会社紋別支店）、「災害発生時における紋別市内郵便局と紋別市

の協力に関する協定」（同：郵便局株式会社紋別郵便局）との4協定です。



「第9回オホーツクもんべつホワイトビーチの海洋交流館で行われた



サッカー大会」には、紋別をはじめ遠軽や湧別、帯広から昨年より6チーム多い、全16チームが出場。砂の上で作られた28メートル×16メートルのコート上を、選手たちが砂ぼこりを巻き上げながらプレーに熱中し、シュートが決まると見守る観衆から大きな声援があがりました。

